

NPO総会総会議事録

1. 開催日時 平成16年6月12日 17時—18時45分

1. 開催場所 京都全日空ホテルにおいて

1. 総正会員数 33名

1. 出席正会員数(本人) →18名

1. 議長選任の経過

定刻定款の規定により理事長井上一知が議長席についた。続いて議長より挨拶の後本日の総会は定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議案の審議に入った。

1. 議事の経過の要領及び議案別議決の結果

第1号議案 理事再任承認の報告の件

議長は、現在の理事の再任が承認された旨を報告した。

第2号議案 新理事承認の報告の件

議長は新しく理事に饗庭一慶氏が承認された旨を報告した。

第3号議案 アソシエイトアドバイザー設定と選任の報告の件

議長はアソシエイトアドバイザーの設定と、アソシエイトアドバイザーとして安部泰隆氏と木村正弥氏を選任すること、及び、ホームページへの掲載が承認された旨を、報告した。

第4号議案 定款の改正の報告の件

議長は第3章第6条、第8条、第22条、第27条、及び、附則6を、下記に示すごとく改定する旨を報告した。(下線部)

第3章第6条 このNPO法人会員は、次の3種とし、正会員を持って特定非営利団体活動促進法(以下「法」という。)上の社員とする。

(1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人、法人(再生医療学会の法人会員も含む)及び団体

(3) 特別会員→この法人と協力して、患者さんとの連携促進をはかる法人・団体(患者団体・協会)

第8条 入会金及び→削除

第22条 正会員→会員

第27条 正会員→会員

附則6 このNPO法人の会費は、次に掲げる額とする。但し、再生医療学会の法人会員は除く。

(1) 正会員 個人 年会費 5,000円

法人 年会費 50,000円

団体 年会費 50,000円

(2) 賛助会員 個人 年会費(一口) 20,000円

法人 年会費(一口) 100,000円

団体 年会費(一口) 100,000円

(3) 特別会員(患者団体・協会) 年会費無料

第5号議案 活動状況の報告の件

監事が一年間の幅広い活動状況の詳細について、報告を行った。

第6号議案 平成16年度事業決算報告及び書類の承認を求める件

監事が本議案について詳細を説明した後、議長がこれを議場に諮って承認を得た。

第7号議案 平成17年度会計収支予算案の承認を求める件

監事が詳細を説明し、議長がこれを議場に諮り、承認された。

再生医療学会の法人会費の半分が予算として組み込まれていた今までの制度とは異なり、平成16年度からは、予算案を提出した後に再生医療学会理事会で予算配分が決定される事になった旨が報告された。

第8号議案 事業計画の報告の件

議長より平成16年度の事業計画のうちで、講演会（意見交換会）の予定について、以下のとおり報告がなされた。

平成16年8月21日（土） 開催場所 京都全日空ホテル

主題「骨の老化と再生医療」 演者 高倉義典先生、越智光夫先生

平成16年9月25日（土） 開催場所 東京都品川中小企業センター

→主題「歯と再生医療」 演者 木下鞆彦先生、島田淳先生

第9号議案 今後のNPOの活動のあり方についての件

監事がこれまでのホームページ活動についての詳細（患者さんや、一般市民、企業などから寄せられた多くの質問・問い合わせの解析や、それに対する返答など）を説明した。議長から、ホームページ活動の普及・充実、は、NPO活動の根幹である旨の説明があり、以下の問題点が提議された。

「BBSの充実、質疑応答の迅速な掲載、今後の普及・あり方

イベント情報の充実（患者さん、一般市民、企業の方々を対象とするということを幅広く理解してもらう、講演抄録の掲載、質疑応答内容、参加者の構成、感想などの掲載、その他のご意見）

患者さん、一般市民、企業のニーズに関する情報収集

再生医療に関する最新情報（研究成果、学会情報、ベンチャー企業の動向、特許に関する情報）の掲載、有料サイトの設定、ホームページに関するトラブルに対する迅速な対応」

議長より、講演会（意見交換会）についても、対象（患者さん、一般市民、企業の方々、その他）、内容、演者、テーマ、フリートークのあり方（時間を十分にとる・進行係を2名にする）、開催地域（関東その他）、質疑応答の記録、今後の方針・展開方法などについて、提議がなされた。次いで、議長より今後のNPOの活動のあり方についての意見を議場に諮ったところ、以下のとおりの意見がだされた。

公演会 スライドは総べて日本語で表示、理解し易いものを作成して頂く。

本会の主旨が一般の方、医療関係者への教育の意味を含んでいる事を再確認する事。

ホームページの掲載

先頭のページは変えない。

現在のものは1ページが長過ぎるため、掲示版のページを分ける、もしくは、インデックスで分ける方が良い。

現在のデザインの様に絵が少なく、更に、商売的にならない様に、いい面を維持していく。

活動の宣伝、普及

公演会の掲載を無料掲載してもらえる雑誌、新聞を更に探す。

参加者の構成や地域を分析してみる。

現在の会員の構成を分析してみる。

学生や退職者への PR 活動を行う。学生であれば、学校、教育委員会レベル、退職者であれば健康作りセンター、退職者センター、福祉会館等への案内、パンフレット配付、ポスター掲示を行う。メイリングリストの作成、活用を行う。

公演会のビデオ撮影、及び公表。研究放送機関にバックアップの依頼を検討する。

最後に、議長から以下の活動に対する協力依頼があり、承認された。

患者団体・協会との連携推進（ネットワークの形成）

会員（個人・法人）を幅広く募っていく； 個人会員、法人会員、賛助会員

（個人・法人）のNPOへの積極的な参入を募り、市民運動を展開していく

予算の獲得； 賛助会員（個人・法人）を募る、寄付依頼（理事・会員の協力）、

科研費などの公的予算、国・府・市への働きかけ

その他のNPO活動へ向けて；研究者と企業化への橋渡し（研究成果の実用化推進）、事業（活動）報告書の作成・出版（年度末）

以上をもって本日の議案全部の議案全部を終了したので、議長は閉会を宣し午後6時45分散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人次に記名押印する。

平成16年7月7日

特定非営利活動法人再生医療推進センター理事会

議長理事長

井上 一知

議事録署名人

角 昭一郎

議事録署名人

日裏 彰人